

社会福祉系学会連合ニュース (2024年3月号)

1. ご挨拶

後藤 広史 (日本社会福祉系学会連合事務局長)

はじめに、この度の能登半島地震により多大な被害を受けられたすべての方々に、心からお見舞い申し上げます。

このような災害時には、私たちの役割がますます重要になります。被災者の方々が直面する社会的な問題に対応し、生活の再建を支援することが求められます。この困難な時期を乗り越え、より強固な社会を築くためには、私たち一人ひとりが専門知識を活かし、積極的に行動することが不可欠です。

日本社会福祉系学会連合としても、こうした活動を支えるべく、これまでの災害に関連する学術論文・報告書を蓄積する災害アーカイブ事業を行っています。ぜひ皆様の活動にお役立ていただければと思います。

●[日本社会福祉系学会連合：災害福祉アーカイブ](#)●

今年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行し、社会経済活動が本格的に再開されました。ここに至るまで、新型コロナウイルス感染症の蔓延は人々の暮らしに様々な負の影響を与えましたが、の中には当然のことながら研究活動も含まれます。やむを得ず研究計画を変更したり、調査の断念を余儀なくされた会員の方々も少なくないのではないのでしょうか。しかし一方では、ICTの技術の活用などにより、海外の学会等にもオンラインで参加できるようになるなど、プラスの側面もありました。

現在本連合では、新型コロナウイルスの蔓延が加盟学会の会員の皆様の研究活動にどのような影響を与えたか、それをふまえて、今後の学会活動の在り方をどのようにしていけばよいのかを検討するために、「With コロナ時代における研究に関する状況とニーズと学会活動のあり方についての調査」を実施し、このほど回収を終えたところです(調査にご協力いただきました皆様に、この場を借りて感謝申し上げます)。結果がまとまり次第、結果をHPやシンポジウム等でご紹介したいと思います。

今期の運営委員会は2024年度の総会をもって任期満了となります。運営委員の諸先生方のご尽力に対してお礼を申し上げます。冒頭も述べたように、社会福祉系学会の連合体である本組織の役割はさらに大きくなっていくものと思われます。本組織と加盟学会のますますの発展を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

2. 加盟学会の2024年度学術大会日程

本連合では、加盟学会の2024年の学術大会等の情報を集約し、各学会の日程の設定がスムーズに行われるとともに、会員の方々が計画的に学術集会等に参加できるよう努めています。学術大会等の最新情報は加盟学会より情報をいただき次第、本連合のHPに掲載いたします。以下に日程の概要をお知らせいたします。

学会名	大会情報
社会事業史学会	社会事業史学会第52回大会 大会日程：2024年5月11日（土）-12日（日） 開催場所：東洋大学赤羽台キャンパス（東京都） テーマ：社会事業史学会50年の回顧と展望Ⅲ
日本介護福祉学会	第32回日本介護福祉学会大会 大会日程：2024年8月25日（日）9:30-16:30 ※8月24日（土）15:00-16:30 大会公開講座開催 開催場所：北星学園大学（北海道） テーマ：科学的介護を見据えた介護福祉学の到達点 ～全人的介護と科学的介護の調和に向けて～
日本家族療法学会	一般社団法人日本家族療法学会第41回金沢大会 大会日程：2024年9月27日（金）-29日（日） 開催場所：金沢市文化ホール（石川県） テーマ：未定
日本看護福祉学会	第37回日本看護福祉学会学術大会 大会日程：2024年7月6日（土）-7日（日） 開催場所：福岡県立大学・北九州国際会議場（福岡県） テーマ：「ま」～こころ・いのち・こどもに関する 『ま』の解釈と演出～
日本キリスト教社会福祉学会	日本キリスト教社会福祉学会第64回大会 大会日程：2024年6月21日（金）-22日（土） 開催場所：北海道浦河町（北海道） テーマ：変革は、弱いところ、小さいところ、遠いところから —当事者に学び、活かされるキリスト教社会福祉—
日本子ども家庭福祉学会	日本子ども家庭福祉学会第25回大会 大会日程：2024年6月29日（土）-30日（日） 開催場所：早稲田大学国際会議場（東京都） テーマ：未定
日本在宅ケア学会	第29回日本在宅ケア学会学術集会 大会日程：2024年8月24日（土）-25日（日） 開催場所：鎌倉芸術館（神奈川県）およびWEB テーマ：「望む場所で暮らす」をかなえるために つくる・つなげる在宅ケア

日本社会福祉学会	日本社会福祉学会第 72 回春季大会 大会日程：2024 年 5 月 26 日（日） 開催場所：明治学院大学白金キャンパス（東京都） テーマ：戦争と社会福祉—歴史研究に学ぶ
	日本社会福祉学会第 72 回秋季大会 大会日程：2024 年 10 月 26 日（土）-27 日（日） 開催場所：【26 日】東海市芸術劇場、 【27 日】日本福祉大学東海キャンパス（愛知県） テーマ：現代における社会福祉の本質を探る
日本司法福祉学会	日本司法福祉学会第 24 回全国大会「2024 横浜大会」（仮） 大会日程：2024 年 9 月 7 日（土）-8 日（日） 開催場所：関東学院大学横浜・関内キャンパス（神奈川県） テーマ：未定
日本社会福祉教育学会	日本社会福祉教育学会第 20 回大会 大会日程：2024 年 9 月 7 日（土）-8 日（日） 開催場所：八王子市学園都市センター（東京都） テーマ：SDGs と社会福祉教育（仮）
日本社会分析学会	詳細は学会 HP をご覧ください → https://jsasa.org/cgi-bin/index.php
日本職業リハビリテーション学会	詳細は学会 HP をご覧ください → https://vocreha.org/
日本精神障害者リハビリテーション学会	日本精神障害者リハビリテーション学会 第 31 回東京お台場大会 大会日程：2024 年 12 月 14 日（土）-15 日（日） 開催場所：東京有明医療大学 テーマ：多様性と調和 台場シティで整う
日本ソーシャルワーク学会	日本ソーシャルワーク学会第 41 回大会 大会日程：2024 年 6 月 29 日（土）-30 日（日） 開催場所：東京都立大学（東京都） テーマ：多様性×包摂性 ～誰一人取り残さないソーシャルワーク～
日本地域福祉学会	日本地域福祉学会第 38 回大会（東京大会） 大会日程：2024 年 6 月 15 日（土）-16 日（日） 開催場所：文京学院大学本郷キャンパス（東京都） テーマ：大都市の生活基盤と多様性を問う ～広域性をふまえた新しい対象と主体～
日本福祉介護情報学会	詳細は学会 HP をご覧ください → https://www.jissi.jp/
日本福祉教育・ボランティア学習学会	日本福祉教育・ボランティア学習学会 第 30 回大会（とうきょう大会） 大会日程：2024 年 11 月 23 日（土）-24 日（日） 開催場所：日本社会事業大学清瀬キャンパス（東京都） テーマ：未定

日本福祉文化学会	<p>詳細は学会 HP をご覧ください → https://nihonfukushibunka.net/</p>
日本仏教社会福祉学会	<p>詳細は学会 HP をご覧ください → http://jaswas.wdc-jp.com/~jabsws/</p>
日本保育ソーシャルワーク学会	<p>日本保育ソーシャルワーク学会全国大会第 10 回研究ひょうご大会 大会日程：2024 年 12 月予定 開催場所：兵庫大学 大会テーマ：「保育者を支える保育ソーシャルワーク」 —支える人をささえる—</p>
日本保健医療社会福祉学会	<p>日本保健医療社会福祉学会 第 34 回大会 大会日程：2024 年 10 月予定 開催場所：ライブオンライン開催予定 大会テーマ：生活世界におけるサファリングとケア ～苦悩に向き合うソーシャルワーカーの実践～</p>
日本保健福祉学会	<p>第 37 回日本保健福祉学会学術集会 大会日程：2024 年秋予定 開催場所：香川大学（香川県） 大会テーマ：未定</p>

※なお、上記は 2024 年 3 月時点の情報です。詳細は随時各学会 HP をご覧ください。また、現地大会へご参加の際は、感染予防対策へのご協力をお願いします。

3. 加盟学会紹介（日本地域福祉学会、日本介護福祉学会）

社会福祉系学会連合には、現在 22 の関連学会が加盟しています。本ニュースでは、順次、加盟学会の会員の方から当該学会の近年の動向を含めた紹介をしていただきます。今回は、日本地域福祉学会、日本介護福祉学会について紹介させていただきます。

●日本地域福祉学会●

高橋 良太（日本地域福祉学会／
全国社会福祉協議会地域福祉部長 全国ボランティア・市民活動振興センター長）

日本地域福祉学会は、地域福祉に関する研究、会員相互の連絡と協力、内外の学会との連携を図り、地域福祉に寄与することを目的として、1987年11月に設立されました。

本学会を構成するのは、地域福祉と関連領域の研究者ではありません。地域福祉の実践を担う自治体の職員、社会福祉協議会の職員、社会福祉施設の職員など、さまざまな実践者が参加しています。2023年4月現在、会員は1540人。そのうち大学や調査・研究機関に所属する会員は785人（51.0%）で、社会福祉協議会359人（23.3%）、社会福祉法人（社協以外）64人（4.2%）、行政54人（3.5%）が続きます。

このことは、本学会が研究と実践の往還を大切にする姿勢をよく表しています。全国大会（研究報告会）、地方部会・専門部会、機関誌の発行等学会の諸活動では、常に研究者と実践者がともに学び合い、協働して研究と実践を進めています。2022年度からは、これまで以上に幅広いネットワークにより地域福祉研究と実践を推進するため、新たに「団体会員」を創設しました。

2024年度は、本学会では以下の活動を実施します。

まず、第38回年次大会は、6月15日（土）～16日（日）、文京学院大学本郷キャンパス（東京都文京区 東大前駅）を会場に開催します

（<https://www.gakkai.ne.jp/jracd2024/>）。テーマは、「『大都市の生活基盤と多様性を問う』～広域性をふまえた新しい対象と主体～」です。どうぞご参加ください。

研究活動としては、学会40周年に向けた「地域福祉のアーカイブ研究」を進めるほか、「地域福祉と全世代型包括支援システム研究プロジェクト」、「地域福祉実践研究プロジェクト」をすすめます。

また、本学会では、会員の研究発表の機会を充実するため「日本の地域福祉」を年1回、さらに、会員の地域福祉実践の関心を高め、実践研究の水準を高めようと「地域福祉実践研究」を年1回刊行しています。

全国8ブロックある地方部会では、部会ごとに研究大会を開催しています。都道府県単位あるいは複数県にまたがる研究活動も盛んです。

日本各地では、さまざまな地域福祉実践が進められています。本学会では、この中から優れた実践を掘り起こし、当該、実践から学び、広く普及していくため、2004年度より「地域福祉優秀実践賞」の募集及び選考を実施しています。昨年（2023）の年次大会では、第20回の受賞団体を顕彰するとともに、これまでの受賞団体をお呼びしシンポジウムを開催しました。

本学会では、今後も引き続き地域福祉の研究と実践に貢献してまいります。

日本地域福祉学会ホームページ
<http://jracd.jp/>

●日本介護福祉学会●

加瀬 裕子（日本介護福祉学会）

日本介護福祉学会は、介護福祉の現状を実証的に明らかにすると同時に、介護福祉のあるべき姿を社会に示すことを目的として、1993年に結成されました。当時は、少子高齢化が急速に進み、超高齢社会となる将来を見据えて、社会保障制度や介護制度が整備されてきました。介護福祉士が国家資格として法制化されたこともその一環であり、「いのちを守り、生きる力を強め、生活の質をたかめる」介護福祉の実践が積み重ねられてきました。

これらの介護福祉実践を分析し、介護福祉士の専門性を明確にすることが、本学会のミッションです。日本において介護は家族によって担われるところが多く、そのため過去には、介護福祉の専門性や理論体系の必要性が理解されない歴史が存在しました。2000年に介護保険法が施行され、介護福祉に対する社会的評価も変わってきましたが、家族ができることを介護職が代替しているに過ぎないという考え方は未だに存在します。しかし、家族介護を重視する文化にあっても公的な介護保障が登場したのですから、介護制度には家族介護をも包摂する責任が問われます。専門職による介護は、介護する家族にも配慮しながら、本人と介護にかかわる構成員全体の介護過程に貢献するものです。このような視点から、本学会では、介護福祉の専門性を明らかにすることを30年にわたって追究しています。

人々の尊厳を守り、自立を支援する介護制度を確立することは、介護サービス利用者だけの問題ではありません。つまり、障害を負った人々ばかりでなく、子ども時代や高齢期など人には生きていくうえで他者の助けが必要になるときがあり、養護・介護がどのように行われるかは国民全体の生活に影響を与える事象です。経済産業省の予測では、2035年には68万人の介護職員が不足します。2017年でも年間10万人近くの人々が家族の介護を理由に辞職していることを考えると、景気の回復どころか大きな混乱が予想されます。

本学会は、倫理・知識・技術の体系から介護福祉学を構築することにより、介護福祉実践と教育・研究の質を高め、人々と社会の安寧に寄与することをめざしています。会員900名と小さな学会ですが、年2回の全国公開講座のほかに地区ごとの公開講座、研究支援の研修会、パンデミックにおける介護現場の経験をまとめ提言を行う等、研究の成果を公表しています。日本介護福祉学会のホームページをご覧ください。

日本介護福祉学会ホームページ

<https://jarcw.jp/>

4. 2024年度補助金制度のご案内

2017年度に創設された補助金制度を2024年度も実施いたします。なお、2021年度より補助の対象を講師（非会員）の旅費に限定せず、「必要となる経費の一部」に拡大することが総会で承認されました。詳細につきましては日本社会福祉系学会連合 HP の下記ページをご覧ください。

→ <http://jaswas.wdc-jp.com/about/subsidy.html>

5. 加盟学会一覧

社会事業史学会 日本介護福祉学会 日本家族療法学会 日本看護福祉学会
日本キリスト教社会福祉学会 日本子ども家庭福祉学会 日本在宅ケア学会
日本司法福祉学会 日本社会福祉学会 日本社会福祉教育学会 日本社会分析学会
日本職業リハビリテーション学会 日本精神障害者リハビリテーション学会
日本ソーシャルワーク学会 日本地域福祉学会 日本福祉介護情報学会
日本福祉教育・ボランティア学習学会 日本福祉文化学会 日本仏教社会福祉学会
日本保育ソーシャルワーク学会 日本保健医療社会福祉学会 日本保健福祉学会

日本社会福祉系学会連合事務局
日本社会福祉学会事務局内
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5
アカデミーセンター
TEL:03(6824)9385 FAX:03(5227)8631
Mail: union-jssw@kokusaibunken.jp
<http://jaswas.wdc-jp.com>

日本社会福祉系学会連合補助金制度要項

2017年5月28日 施行

2021年5月30日 改正

1. 日本社会福祉系学会連合の加盟学会が活性化することを目的とし、毎年6月1日～翌年5月31日の期間において、外部の専門家（非会員）に講演等を依頼する場合の旅費または講演等の開催に際して発生する経費の一部を補助する。
2. 補助の対象となる講演等の開催にあたっては、大会、シンポジウム、研修会等とし、補助金の額は、一回5万円を限度とする。
3. 補助金の申請を希望する学会は、所定の「日本社会福祉系学会連合補助申請書」に必要事項を記入し、『大会等プログラム』あるいは『大会等プログラム』（案）※を添えて、当学会連合事務局宛に提出し申し込む。
4. 補助金を受ける学会は毎年5学会を限度とする。
5. 補助金を受ける学会の選定および補助金額は、講演内容や補助を受けた回数などを勘案して、運営委員会で協議し決定する。
6. 補助金を受けることが決まった学会は、「日本社会福祉系学会連合経費精算書」を領収書と共に当学会連合事務局宛に提出する。
7. 当学会連合事務局は受理した「経費精算書」を確認した後、速やかに当該学会が指定する口座に補助金を振り込む。
8. 補助金を受けた学会は、大会等の開催後に報告書（報告記事）を提出し、学会連合の広報媒体に掲載、掲示について承諾するものとする。
9. 本制度は単年度制度であり、毎年総会前に開催される運営委員会において、決算状況に鑑みて次年度実施の可否を決定する。
10. この要項を変更するときは、総会の議決を経なければならない。

※募集期間に大会が行われた場合は『大会等プログラム』を、募集期間後に大会等が行われる場合は、『大会等プログラム』（案）を提出してください。

年 月 日

日本社会福祉系学会連合補助申請書

学 会 名	
代 表 者 名	
大会等日時	
場 所	
目 的	
申 請 額	円
申請額の根拠	

*大会等プログラム（案）を添えて、ご申請ください。

申請学会名

学会印

代表者名

印

連絡先（ご担当者名

）

連絡先住所

TEL :

e-mail :